

科目名		解剖学実習	
科目責任者		本田 岳夫 (第1解剖学 教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>既存の学術的知見と、自ら得た形態学的観察結果を統合し、論理的推論に基づいて人体の発生・形態形成の機序を解明する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 先行研究を統合し、現在の学術的知見の到達点と未解決の課題を特定できる。</li> <li>2) 人体の形態形成過程で観察すべき形態学的指標を設定し、実験・観察計画を立案でき</li> <li>3) 画像解析技術を用いて、形態学的構造変化を正確かつ定量的に観察し、結果を記録でき</li> <li>4) 観察結果について定量的なデータとして適切に整理・提示できる。</li> <li>5) 観察結果を既知の仮説と結びつけ、新たな仮説を構築できる。</li> <li>6) 形態形成における分子レベルの因子が、細胞・組織の挙動に与える影響について説明でき</li> <li>7) 得られた結果を専門用語を用いて明確かつ論理的な文章または口頭発表で表現できる。</li> <li>8) 研究の限界と今後の展望を認識し、形態形成機構解明に向けた次の研究課題を設定でき</li> </ol>			
● 評価方法	検討会での討論(30%)・発表(30%)実習時における討論等(40%)で総合評価する		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		